



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社共和コーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 6570 URL <https://www.kyowa-corp.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 和彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長兼経理部長 (氏名) 酒井 孝幸 (TEL) 026(227)1301  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	20,729	24.1	1,757	35.7	1,741	35.2	1,122	22.4
2025年3月期	16,705	14.6	1,294	19.6	1,288	16.0	917	41.8

(注) 包括利益 2026年3月期 1,155百万円 (15.9%) 2025年3月期 997百万円 (42.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	188.13	187.41	20.8	10.2	8.5
2025年3月期	153.97	153.23	20.7	8.7	7.8

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	18,629	5,897	31.7	986.13
2025年3月期	15,397	4,871	31.6	817.04

(参考) 自己資本 2026年3月期 5,897百万円 2025年3月期 4,871百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	4,036	△4,280	559	4,380
2025年3月期	2,509	△2,730	△305	4,064

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	ー	10.00	ー	10.00	20.00	119	13.0	2.7
2026年3月期	ー	12.50	ー	12.50	25.00	149	13.3	2.8
2027年3月期(予想)	ー	20.00	ー	20.00	40.00		19.6	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,910	32.9	925	17.6	944	21.4	576	21.5	96.43
通期	26,870	29.6	2,000	13.8	1,992	14.4	1,219	8.6	203.85

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規：1社 社名：道楽株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2026年3月期	6,080,130株	2025年3月期	6,080,130株
2026年3月期	99,343株	2025年3月期	117,267株
2026年3月期	5,966,689株	2025年3月期	5,957,169株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	20,036	24.8	1,726	43.3	1,711	42.8	1,118	30.4
2025年3月期	16,050	14.8	1,204	28.8	1,198	24.6	857	45.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	187.39	186.67
2025年3月期	143.93	143.24

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	18,327	5,775	31.5	965.68
2025年3月期	15,232	4,754	31.2	797.27

(参考) 自己資本 2026年3月期 5,775百万円 2025年3月期 4,754百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束するものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P3「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計上の見積りの変更に関する注記) .....	13
(収益認識に関する注記) .....	13
(セグメント情報等の注記) .....	14
(1株当たり情報の注記) .....	17
(重要な後発事象の注記) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは「3つの楽しみ（顧客満足の楽しみ、一生懸命の楽しみ、実践と行動の楽しみ）」という経営理念のもと、お客様と私たち従業員の「楽しみ」創出のために、日々事業活動を推進しております。

当連結会計年度におきましては、企業収益や雇用・所得環境などの改善を背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、中東情勢や金融資本市場の変動による影響、米国の通商政策をめぐる動向等には引き続き注意が必要であり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下において、当社グループの主力事業でありますアミューズメント施設運営事業におきましては、年間を通して景品ゲームジャンルが引続き好調に推移したことに加え、新規出店の効果もありご来店いただくお客様も前年と比較して増加したことから、過去最高の売上高を達成いたしました。

コスト面におきましては、昨今の物価高や円安による仕入れコストの増加等懸念材料はあるものの、それを上回る売上高の伸長がコスト増を吸収し、全ての段階利益において過去最高を達成いたしました。

以上の結果、当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の当社グループの業績は、売上高は20,729,545千円（前年同期比24.1%増）、営業利益は1,757,326千円（同35.7%増）、経常利益は1,741,997千円（同35.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,122,536千円（同22.4%増）となりました。

当連結会計年度における、セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### ① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、「明るい・安心・三世代」をテーマに、清潔な店舗づくりと丁寧な接客に取り組んでまいりました。

また、アミューズメント業界全体における景品ゲーム人気は今なお継続しており、引続き景品ゲーム機の増やバラエティ感溢れる景品の充実に努めてまいりました。

さらに、全店舗での期間限定キャンペーンの実施やTVアニメとのコラボイベント、限定グッズの販売など新たなお客様層の取り込みを意識した来店促進施策を積極的に取り組んでまいりました。

中期計画に基づき当期に開設した新店については、過去最高の出店数となったことに伴い関連費用が増加したものの、各店舗の業績が想定を上回る水準で推移しこれらの費用を吸収する結果となり、当連結会計年度の収益性向上に大きく寄与しました。

店舗数につきましては、12月に広島県で4店舗目となる「アピナ広島八丁堀西店」を、3月には島根県で初出店となる「アピナ浜田店」など計9店舗を新規出店し、1店舗を閉店しました。これにより期末時点の総店舗数は前年期末時点より8店舗増の73店舗となりました。

以上の結果、アミューズメント施設運営事業における売上高は18,968,853千円（前年同期比24.2%増）、セグメント利益（営業利益）は2,240,384千円（同35.3%増）となりました。

#### ② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、アミューズメント業界全般で景品ゲームが好調なこともあり、引き続き景品ゲーム機及び景品の需要が増加しております。景品販売においては、ぬいぐるみやフィギュア、小型家電等、多岐にわたるジャンルが堅調に推移し、さらにスクイーズを使用したオリジナル景品等の販売も積極的に実施してまいりました。一方で、景品ゲーム機の販売においては、取扱高は増えておりますが、当社の役割が本人に該当する取引の減少により売上高が減少しました。

以上の結果、アミューズメント機器販売事業における売上高は350,123千円（前年同期比16.0%減）、セグメント利益（営業利益）は249,829千円（同23.7%増）となりました。

#### ③ その他事業

その他事業とは、主に各種媒体を利用した広告代理店業や、トレーディングカード事業並びに子会社である株式会社ブルームの商品販売等であります。トレーディングカード事業においては12月に単独店として当社初となる「トレーディングカードピット長野駅前店」など計3店舗を新規出店し、期末時点の総店舗数は前年期末時点より3店舗増の4店舗となりました。いずれの店舗も新品及び中古カードの販売強化や親子カード体験会の開催等売上確保に努めてまいりました。

また、ブルームの商品販売につきましては、スクイーズに対する市場関心の高まりによりECサイトでの物販及び12月に福岡空港国際線旅客ターミナルビル内に新規出店した「MOOOSH SQUISHY 福岡空港店」など国内直販店の販売が堅調に推移しました。

以上の結果、その他事業における売上高は1,410,568千円（前年同期比39.6%増）、セグメント利益（営業利益）は88,483千円（同25.4%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して3,232,354千円増加し、18,629,615千円となりました。この要因は、リース投資資産が83,540千円減少したものの、アミューズメント機器（純額）が803,915千円増加したこと等によるものであります。

## (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して2,206,395千円増加し、12,731,759千円となりました。この要因は、流動負債のその他が472,519千円増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,025,958千円増加し、5,897,856千円となりました。この要因は、利益剰余金が988,296千円増加したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べて315,411千円増加し、4,380,086千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は4,036,538千円（前期は2,509,762千円の獲得）となりました。これは主に減価償却費2,315,831千円、税金等調整前当期純利益1,732,492千円等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は4,280,879千円（前期は2,730,183千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得3,608,050千円等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は559,752千円（前期は305,465千円の使用）となりました。これは主に長期借入れによる収入2,500,000千円がありましたが、長期借入金の返済による支出1,810,302千円等があったことによるものです。

## (4) 今後の見通し

## (アミューズメント施設運営事業)

「明るい・安心・三世代」をテーマに、清潔な店舗づくりと丁寧な接客を継続して実施し、お客様が安心してお楽しみいただける店舗運営を心がけてまいります。また、最新のアミューズメント機器購入等の設備投資を進めるとともに、オリジナル景品の製作や公式アプリ・SNSを通じた販促活動等にも積極的に取り組み、他社との差別化を推進してまいります。

店舗開発につきましては情報収集と現地調査を十分に実施し、新規出店を積極的に推進してまいります。

## (アミューズメント機器販売事業)

引続き売上が好調な景品ゲーム機や景品の販売を柱とし、新規取引先の開拓や既存顧客への販売拡大及び提案型営業を推進してまいります。

## (その他事業)

広告代理店業につきましてはデジタル広告等の提案・販売に力を入れてまいります。

トレーディングカード事業は、新品・中古トレーディングカード市場の今後の更なる成長を好機ととらえ、トレーディングカード専門店の出店に尽力し、また既存アミューズメント施設との相乗効果を図ってまいります。

子会社の株式会社ブルームにつきましても、自社オリジナル製品の企画・製作を推進し、直営店舗やECサイト等での販売に注力してまいります。

※本資料における予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご承知おきください。

- (5) 継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は、会社法上の分配額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることに鑑み、当社グループは日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,499,974	5,015,386
売掛金	864,138	1,124,246
有価証券	200,000	200,000
商品	235,392	518,810
貯蔵品	300,675	348,205
リース投資資産	231,959	148,419
その他	356,301	357,794
流動資産合計	6,688,442	7,712,863
固定資産		
有形固定資産		
アミューズメント機器(純額)	3,178,926	3,982,842
建物及び構築物(純額)	1,694,997	2,438,870
工具、器具及び備品(純額)	431,664	586,328
土地	1,018,596	1,050,607
建設仮勘定	30,104	73,510
その他(純額)	45,562	33,980
有形固定資産合計	6,399,852	8,166,140
無形固定資産		
のれん	—	169,308
その他	43,163	34,536
無形固定資産合計	43,163	203,845
投資その他の資産		
投資有価証券	330,733	381,099
繰延税金資産	215,786	270,234
敷金及び保証金	1,498,842	1,651,823
その他	235,841	259,010
貸倒引当金	△15,402	△15,402
投資その他の資産合計	2,265,802	2,546,766
固定資産合計	8,708,818	10,916,752
資産合計	15,397,261	18,629,615

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,453,953	1,782,904
1年内返済予定の長期借入金	1,555,402	1,818,900
未払金	1,304,162	1,356,002
未払法人税等	331,439	530,042
資産除去債務	5,544	—
賞与引当金	103,461	148,424
その他	756,215	1,228,734
流動負債合計	5,510,177	6,865,008
固定負債		
長期借入金	4,353,902	4,820,424
資産除去債務	647,324	1,014,922
その他	13,960	31,404
固定負債合計	5,015,186	5,866,751
負債合計	10,525,363	12,731,759
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	709,709	709,709
資本剰余金	503,473	501,427
利益剰余金	3,524,074	4,512,370
自己株式	△41,662	△35,353
株主資本合計	4,695,594	5,688,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,303	209,701
その他の包括利益累計額合計	176,303	209,701
純資産合計	4,871,897	5,897,856
負債純資産合計	15,397,261	18,629,615

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	16,705,339	20,729,545
売上原価	7,838,564	9,995,544
売上総利益	8,866,775	10,734,000
販売費及び一般管理費	7,571,791	8,976,674
営業利益	1,294,984	1,757,326
営業外収益		
受取利息	4,320	8,580
受取配当金	3,319	5,303
太陽光売電収入	6,043	5,943
自販機設置協賛金	6,073	9,040
その他	13,166	14,117
営業外収益合計	32,923	42,985
営業外費用		
支払利息	33,508	53,712
その他	5,846	4,601
営業外費用合計	39,354	58,314
経常利益	1,288,552	1,741,997
特別利益		
固定資産売却益	45	—
投資有価証券売却益	208	—
特別利益合計	253	—
特別損失		
固定資産売却損	—	4,272
減損損失	117,309	5,231
特別損失合計	117,309	9,504
税金等調整前当期純利益	1,171,496	1,732,492
法人税、住民税及び事業税	489,328	673,435
法人税等調整額	△235,061	△63,479
法人税等合計	254,266	609,956
当期純利益	917,229	1,122,536
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	917,229	1,122,536

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	917,229	1,122,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80,165	33,398
その他の包括利益合計	80,165	33,398
包括利益	997,395	1,155,935
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	997,395	1,155,935
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	709,709	504,606	2,725,982	△45,215	3,895,082
当期変動額					
剰余金の配当			△119,137		△119,137
親会社株主に帰属する当期純利益			917,229		917,229
自己株式の取得					
自己株式の処分		△1,132		3,552	2,420
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1,132	798,092	3,552	800,512
当期末残高	709,709	503,473	3,524,074	△41,662	4,695,594

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	96,137	96,137	3,991,219
当期変動額			
剰余金の配当			△119,137
親会社株主に帰属する当期純利益			917,229
自己株式の取得			
自己株式の処分			2,420
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	80,165	80,165	80,165
当期変動額合計	80,165	80,165	880,677
当期末残高	176,303	176,303	4,871,897

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	709,709	503,473	3,524,074	△41,662	4,695,594
当期変動額					
剰余金の配当			△134,239		△134,239
親会社株主に帰属する当期純利益			1,122,536		1,122,536
自己株式の取得				△92	△92
自己株式の処分		△2,046		6,402	4,356
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2,046	988,296	6,309	992,559
当期末残高	709,709	501,427	4,512,370	△35,353	5,688,154

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	176,303	176,303	4,871,897
当期変動額			
剰余金の配当			△134,239
親会社株主に帰属する当期純利益			1,122,536
自己株式の取得			△92
自己株式の処分			4,356
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	33,398	33,398	33,398
当期変動額合計	33,398	33,398	1,025,958
当期末残高	209,701	209,701	5,897,856

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,171,496	1,732,492
減価償却費	1,995,829	2,315,831
減損損失	117,309	5,231
受取利息及び受取配当金	△7,639	△13,883
支払利息	33,508	53,712
投資有価証券売却損益(△は益)	△208	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△45	4,272
売上債権の増減額(△は増加)	△160,832	△227,972
棚卸資産の増減額(△は増加)	47,822	△173,327
リース投資資産の増減額(△は増加)	△231,959	83,540
仕入債務の増減額(△は減少)	292,282	404,942
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,981	42,481
未払消費税等の増減額(△は減少)	△196,400	125,735
未払金の増減額(△は減少)	△51,145	164,973
その他	△14,311	93,490
小計	3,008,686	4,611,522
利息及び配当金の受取額	6,288	13,658
利息の支払額	△33,211	△52,937
法人税等の支払額	△472,223	△535,704
法人税等の還付額	222	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,509,762	4,036,538
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,612,271	△3,608,050
有形固定資産の売却による収入	45	3,605
投資有価証券の取得による支出	△5,730	△1,707
投資有価証券の売却による収入	312	—
無形固定資産の取得による支出	△14,186	△8,696
資産除去債務の履行による支出	△11,069	△22,300
定期預金の預入による支出	△605,800	△805,800
定期預金の払戻による収入	705,800	605,800
保険積立金の積立による支出	622	△622
敷金及び保証金の差入による支出	△196,145	△213,919
敷金及び保証金の回収による収入	8,084	45,374
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△244,337
その他	155	△30,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,730,183	△4,280,879
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,500,000	2,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,688,772	△1,810,302
自己株式の取得による支出	—	△92
ストックオプションの行使による収入	2,420	4,356
配当金の支払額	△119,113	△134,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△305,465	559,752
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△525,887	315,411
現金及び現金同等物の期首残高	4,590,562	4,064,674
現金及び現金同等物の期末残高	4,064,674	4,380,086

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(資産除去債務の見積りの変更)

当連結会計年度において、不動産賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。

その結果、見積りの変更による増加額270,627千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、当該見積りの変更により、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ100,703千円減少しております。

(収益認識に関する注記)

## 1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計		
北海道	146,317	—	146,317	—	146,317
東北	1,135,575	—	1,135,575	—	1,135,575
関東	4,655,633	416,596	5,072,229	658,839	5,731,069
甲信越	3,870,269	—	3,870,269	341,562	4,211,831
北陸	879,918	—	879,918	—	879,918
東海	2,994,331	—	2,994,331	—	2,994,331
近畿	756,656	—	756,656	—	756,656
中国	635,776	—	635,776	—	635,776
四国	135,066	—	135,066	—	135,066
その他(注2)	68,772	—	68,772	—	68,772
顧客との契約から生じる収益	15,278,318	416,596	15,694,914	1,000,401	16,695,315
その他の収益	—	—	—	10,023	10,023
外部顧客への売上高	15,278,318	416,596	15,694,914	1,010,425	16,705,339

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等の事業を含んでおります。

2. 「その他」は、各店舗に設置した自動販売機の受取手数料等の金額であります。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計		
北海道	179,678	—	179,678	—	179,678
東北	1,343,511	—	1,343,511	—	1,343,511
関東	5,392,931	350,123	5,743,054	699,058	6,442,112
甲信越	4,444,371	—	4,444,371	688,868	5,133,239
北陸	924,443	—	924,443	—	924,443
東海	4,181,663	—	4,181,663	—	4,181,663
近畿	826,270	—	826,270	—	826,270
中国	1,377,617	—	1,377,617	—	1,377,617
四国	228,244	—	228,244	—	228,244
その他(注2)	70,120	—	70,120	—	70,120
顧客との契約から生じる収益	18,968,853	350,123	19,318,976	1,387,926	20,706,902
その他の収益	—	—	—	22,642	22,642
外部顧客への売上高	18,968,853	350,123	19,318,976	1,410,568	20,729,545

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等の事業を含んでおります。

2. 「その他」は、各店舗に設置した自動販売機の受取手数料等の金額であります。

(セグメント情報等の注記)

#### 【セグメント情報】

##### 1. 報告セグメントの概要

###### (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源配分の決定や、業績を評価するために定期的に点検を行う対象となっているものであります。

当社グループは、アミューズメントに関する事業を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「アミューズメント施設運営」及び「アミューズメント機器販売」の2つの事業を報告セグメントとしております。

###### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「アミューズメント施設運営」は、アミューズメント施設の運営を行っております。

「アミューズメント機器販売」は、アミューズメント機器等の販売を行っております。

##### 2. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は「連結財務諸表作成のための基礎となる重要な事項」における記載のとおりであります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上又は振替高は、協議の上で決定した販売価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,278,318	416,596	15,694,914	1,010,425	16,705,339	—	16,705,339
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,680	1,680	11,759	13,439	△13,439	—
計	15,278,318	418,276	15,696,594	1,022,184	16,718,779	△13,439	16,705,339
セグメント利益	1,656,082	201,994	1,858,077	118,609	1,976,686	△681,702	1,294,984
セグメント資産	8,716,343	978,223	9,694,567	958,720	10,653,287	4,743,974	15,397,261
その他の項目							
減価償却費	1,948,297	4,387	1,952,685	5,878	1,958,563	37,265	1,995,829
減損損失	117,309	—	117,309	—	117,309	—	117,309
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,799,816	526	2,800,342	193,419	2,993,761	42,445	3,036,207

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△681,702千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額4,743,974千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、報告セグメントに帰属しない現金及び預金であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額42,445千円は本主に係る設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント負債については、意思決定に使用していないため記載しておりません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,968,853	350,123	19,318,976	1,410,568	20,729,545	—	20,729,545
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,362	3,362	14,632	17,995	△17,995	—
計	18,968,853	353,486	19,322,339	1,425,200	20,747,540	△17,995	20,729,545
セグメント利益	2,240,384	249,829	2,490,214	88,483	2,578,697	△821,370	1,757,326
セグメント資産	10,728,459	1,199,098	11,927,557	1,952,374	13,879,932	4,749,683	18,629,615
その他の項目							
減価償却費	2,257,607	2,921	2,260,528	14,267	2,274,795	41,039	2,315,834
減損損失	5,231	—	5,231	—	5,231	—	5,231
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,708,846	983	3,709,830	538,216	4,248,047	28,566	4,276,613

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△821,370千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額4,749,683千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、報告セグメントに帰属しない現金及び預金であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額28,566千円は本主に係る設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント負債については、意思決定に使用していないため記載しておりません。

## (1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	817.04円	986.13円
1株当たり当期純利益	153.97円	188.13円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	153.23円	187.41円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	917,229	1,122,536
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	917,229	1,122,536
普通株式の期中平均株式数(株)	5,957,169	5,966,689
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数(株)	28,815	22,886
(うち新株予約権)(株)	(28,815)	(22,886)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。